

一般質問通告書（令和2年3月定例市議会）

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁順序	答弁者
1	四田 久美子	1. 女性の活躍推進について	(1) 女性の力を地域活動の大きな活力として活かすために、「地域振興協議会」などにおいて男女共同参画は実現していますか。 (2) 白杵市職員の職場環境について「仕事と生活（出産や子育てなど）のバランス」は良好に保たれていますか。		
		2. 新しい学校のあり方について	(1) 2020年度から順次スタートする新学習指導要領によって、教育内容はどのように変わりますか。 (2) 校則の見直しや制服の選択制採用が全国的に増えるなか、白杵市での状況はどうなっていますか。		
2	吉岡 勲	1. 分煙施設について	(1) 改正健康増進法が施行されて、分煙が厳格に実施されるが、行政としての助成は考えられないか。		
3	梅田 徳男	1. 国土強靱化地域計画の進捗状況について	(1) 国土強靱化地域計画に関しては、昨年6月の定例会で、基本目標に基づいて策定を進めていきたいとご答弁をいただいているが、本年1月1日時点の内閣官房国土強靱化推進室のデータでは、白杵市としての地域計画の完了予定が令和2年3月末となっている。白杵市の国土強靱化地域計画の策定に関し、足下の進捗状況についてお伺いしたい。		
		2. 市民が負担する利用料金等の設定にあたっての考え方について	(1) 市民が直接負担する手数料や利用料、使用料、負担金などについて、目的や体系、種別ごとに、それらごとの適正金額の設定に関する基本的な考え方についてお伺いしたい。		
4	広田 精治	1. 国の「幼児教育・保育の無償化」によって不要となった市の独自施策財源の活用について	(1) 不要となった独自施策の財源総額はいくらかを伺う。 (2) いわば浮いた財源は、既存の子育て施策の拡充、また新しい子育て施策に活用すべきと考えるが、見解を伺う。		
		2. 大分野津太陽光発電事業計画について	(1) 1月19日の地元説明会以後、進捗があれば聞かせてください。 (2) 計画地における里道等の払下げ、用途廃止手続きは現状どうなっているか伺う。 (3) 事業者は地元区長や地権者に対して、土地改変面積を減らした20ha部分を農業用地として開発するとの説明を繰り返しているがそのような報告を受けているか、またそれが現実的な計画だと考えるか伺う。		
		3. 白杵市に計画されている風力発電事業における低周波音と健康被害等について	(1) 騒音被害と併せて風車病といわれる低周波による健康被害（睡眠障害、頭痛、耳鳴り、めまい、吐き気、圧迫感、息苦しさ）に不安が広がっている。低周波による健康被害に対する認識を伺う。 (2) 低周波による健康被害に不安をもつ住民にどのように向き合ってきたか、またどう向き合うか考えを伺う。 (3) 2つの計画について事業者に対して計画中止を含む意見、要望を伝える考えがあるかを伺う。		
5	戸匹 映二	1. 産前・産後のサポート及び産後ケアについて	(1) 現在の支援体制について ① 現状の支援体制と課題認識を伺う。 ② 産前・産後サポート事業・産後ケア事業の取り組みへの考えを伺う。		
		2. 地震・津波災害時の水の確保について	(1) 現在の災害時の水の確保対策について ① 市民の飲料水及び生活用水の確保への対策はどのようになっていますか。 (2) 災害時の井戸の活用について ① 災害時の生活用水の確保へ「災害時市民開放井戸」登録制度を導入しては如何か。		
		3. SDG sの取り組みについて	(1) SDG sの取り組み姿勢について ① 積極的な取り組みへ向け、「SDG s日本モデル」宣言に賛同しては如何か。 (2) SDG sの取り組み方法について ① 自治体のSDG sへの取り組みとして、「地方創生SDG s官民連携プラットフォーム」への入会、また、「SDG s未来都市」の取り組みなどを進めていただきたいが如何か。 (3) SDG sに資する教育の取り組みについて ① 「持続可能な社会の創り手」の育成を目指す教育への取り組みの考えを伺う。		

一般質問通告書（令和2年3月定例市議会）

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁順序	答弁者
6	伊藤 淳	1. 白杵市成年後見制度利用促進基本計画における中核機関と白杵市Z会議の取り組みについて	(1) 白杵市では、昨年の10月に福祉課が担当課となって、白杵市成年後見制度利用促進基本計画が策定され、市民後見センターを中核機関とした権利擁護の取り組みを進めて頂いているところです。一方、保険健康課が担当課の白杵市Z会議においても、「看取り」をテーマに協議がすすめられるとのこと。どちらの取り組みも、アドバンス・ケア・プランニングの考え方によれば、人生の一連の流れの中にあるものであり、もしものときのことを思うと分けて考えることのできないものです。 住民にとって安心して暮らせる白杵市であるためには、ワンストップで対応して頂きたい取り組みですが、この2つの取り組みを今後どのように連携してすすめていかれるか教えて下さい。		
		2. 医療介護連携事業について	(1) 昨年9月定例会にて、医療介護連携事業の取り組みとして、医療・介護・福祉・行政などの他職種で構成された部会を中心に、2年の期間を費やして、口腔ケア・低栄養・薬の管理をテーマにした専門職向けの手引書が作成されたことと答弁頂きました。その手引書が市内の医療介護関係機関に配布され、概ね1年経過します。そこでお尋ねします。 ① 医療介護の現場での手引書の活用状況など、この取り組みの評価結果を教えてください。 ② 評価結果を受けて、今後の取り組みは、どのように行われますか？		
		3. 地域包括ケアシステムの深化・推進について	(1) 白杵市高齢者福祉計画および第7期介護保険事業計画の中では、地域包括ケアシステムを深化・推進させていくと示されています。しかし、昨年3月定例会にて「地域での情報収集や個別の会議への参加、支援方法等には、まだ検討が必要である。」「地域振興協議会と連携し、地域ごとの現状や考え方、課題を共有すること及び各地域団体の話合いの場などへの参加を進めていく」とご答弁頂きました。そこでお尋ねします。 ① 地域振興協議会や地域団体の自治会・民生委員児童委員協議会等の話合いの場などへの参加状況を教えてください。 ② その話合いの場で認識を共有された地域課題を教えてください。 ③ 今後の取り組みについて市のお考えを教えてください。 (2) 地域における助けあいを進めるため、平成29年に結成された「ほっと暮らし隊」の現状と今後の取り組みについて教えてください。		
7	内藤 康弘	1. 学校の個別施設計画について	(1) 公立学校施設現況調査の進捗状況について伺う。 (2) この調査で何が明らかになりますか。 (3) この調査結果は、今後どのように活用されますか。 (4) この調査と、学校の適正配置計画との関連をどのように考えていますか。		
		2. スクールサポートスタッフの増員について	(1) 令和2年度以降に、教員の事務補助を行う、スクールサポートスタッフの増員の予定はありませんか。		
8	奥田 富美子	1. 白杵市一般廃棄物処理基本計画について	(1) ごみの減量化へ向けた取り組みについて ① ここ数年のもやせるごみ、もやせないごみ、プラスチック製容器包装のごみの推移はどうなっていますか？ ② ごみ減量化に向けてどのような取り組みをしていますか？また、今後の計画で改善する取り組みがありますか？ ③ 現在、有料のごみ袋を減量化促進のためにも見直しはいかがでしょうか？具体的にはもやせるごみ袋を中身の見える半透明にしているかがでしょうか？ (2) 生活排水処理基本計画にある白杵川水系、末広川水系の合計3か所の測定箇所で大腸菌群数が基準値を超えています。その原因と対策についてどのようにお考えでしょうか？		
		2. 先生の勤務実態と対策について	(1) 昨年2学期からのタイムカード導入により、把握した勤務実態はどうなっていますか？ (2) その結果をうけて、今後どのような取り組みが必要と考えておられますか？		

一般質問通告書（令和2年3月定例市議会）

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
9	河野 巧	<p>1. 白杵市社会福祉協議会及び包括支援センターの役割について</p> <p>2. 集落支援員制度の活用について</p> <p>3. 風力発電事業と森林保全について</p>	<p>高齢化と過疎化が進むことにより、住民が自治体に求める福祉ニーズは複雑化しています。そこで、個別支援、地域生活支援を行うための総合相談窓口の一元化が課題であると考えます。現状では白杵市が各種事業を委託している白杵市社会福祉協議会と白杵市医師会立包括支援センターに対する考え方や役割の中で介護予防に関する事柄以外は重複するものが多いように考えます。それぞれの役割について質問します。</p> <p>(1) 白杵市社会福祉協議会の役割（委託）について (2) 包括支援センターの役割（委託）について (3) それぞれの相談体制（アウトリーチも含めて）について (4) 両団体の事業統合や連携及び人材の育成、併用が行えないか</p> <p>財政運営が厳しい折、自治体職員の数、経費、予算の見直しは今後の重要課題の一つと考えます。また、地域では地域課題を住民自らが解決していかなければならない現状もあります。しかし、高齢化率が50%を超える自治会も多数存在し、多様化する自治会運営が今後、難しくなっていくものと推察します。そこで白杵市では地域振興協議会も設立されましたが、総務省の予算を活用した集落支援員制度について更なる活用ができないかについて質問します。</p> <p>(1) 白杵市の集落支援員制度の現状と課題について (2) 白杵市の集落支援員制度の改善策について (3) 地域振興協議会への集落支援員増員について</p> <p>白杵市内で検討されている2ヶ所の風力発電計画の経過について</p> <p>(1) 事業者からの自治体及び地区民への対応について (2) 周辺環境への影響に関する対策について</p>		
10	大塚 州章	<p>1. 白杵市の医療体制について</p>	<p>(1) 白杵市民の健康を守る為の医療体制について、その現状を伺いたい。 (2) その成果と課題を伺いたい。 (3) 地域医療について、先般の厚生労働省の地域医療構想の発表に対し、市民の不安は未だ払拭されていない様にあるが、白杵市としてはどの様に捉えているのか伺いたい。 (4) 白杵市として現在までにどのような行動をして、今後どう地域医療体制を守って行くのか伺いたい。 (5) 新型コロナウイルス感染症に対しての対応を伺いたい。</p>		
11	若林 純一	<p>1. 「サーラ・デ・うすき」について</p> <p>2. 長期の視点に立った財政運営について</p> <p>3. 地域おこし協力隊について</p>	<p>(1) 利用促進のために施設改修を行い、レストランを誘致したものの契約満了に伴い撤退、その後、空き状況が続いている。 ① 9月定例会において「サーラ・デ・うすき」について「検討する」と答弁されたが、その後の検討経過と活用方針について</p> <p>(1) 今後5か年の財政状況を表す「中期財政収支の試算」が示されたが、単年度収支は令和3年度以降赤字となり年々拡大する。また、経常収支比率も令和元年度の94%から5年度には99.2%に上昇するとされている。 ① 財政の現状と長期的な展望について ② 赤字の縮減と経常収支比率を下げするための対策について ③ 市民のできることであれば、何が考えられるか？</p> <p>(1) 「地域おこし協力隊」は、一定期間その地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRなどの地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みである。 その経費については、手厚い交付税措置があることから、地域への定住・定着を促進するための大変有効な取り組みと思われる。 ① 白杵市における状況及び他市との比較について ② 「一般募集」に加え「企画提案型」として、知識や経験、特技や資格を活かし、「地域振興」や「起業・就業」を目指す活動の企画提案を求め、多くの隊員を募集している自治体もある。本市においても一層の活用を図るべきと思われるがいかがお考えか？</p>		